

# 浅井北だより



☆よく考え自ら学ぶ子 きまり正しく心豊かな子 健康でたくましい子☆

令和4年12月号

## 最初で 最後で 最高の心に焼き付く思い出を！！



6年生が、11月1日（水）から2日間、修学旅行に出かけました。子どもたちは担任から「日頃の学校生活で心がけていることが実践できるように」と声をかけられ、「最初で、最後で、最高の心に焼き付く思い出を」を合言葉に、調べ学習を行い、バス車内で楽しむクイズを作成したり、係ごとの準備や打ち合わせをしたりするなどの準備を進め、当日を迎えました。

1日目は、時折雨の降るあいにくの天気となってしまいましたが、子どもたちは終始落ち着いて行動することができました。昼食の時間には、帰り際に店員さんに「ごちそうさまでした」「おいしかったです」と進んで感謝の気持ちを伝える様子が見られ、とてもうれしく思いました。また、宿では、それぞれのグループごとにやりたいことを相談して楽しく過ごしたり、家が恋しくなった友達にやさしく声をかけたりするなど、寝食を共にするなかで互いを理解し、認め、気遣う様子が見られました。

2日目は、二条城に出かけました。見学のさなか、私は一人の男性の方に声をかけられました。どこから来たのかなど聞かれた後、「子どもたちが周りを気遣って見学する姿に、感心した。実は昨日、よそのお寺で修学旅行生がいたのだが、僕ら見学者がいる中、走ったり騒いだりして、最後はお寺の方にも注意をされる始末で、自分たちも本当に嫌な思い出になってしまった。今日はよい姿を見せてもらって、本当に来てよかったと思って声をかけさせてもらった。素晴らしいです。」と言われました。

続いての見学地、妙心寺退蔵院での座禅体験では、お坊さんより座禅は心のそうじであること、棒（警策）で肩を打たれることは、長時間座禅を続けることへの励ましの行為であることを教えていただきました。そして、座禅に入る前に「警策で肩を打ってほしいかどうかは自分で決めてください。そして、打ってほしい人は、私が近づいたら手を合わせて静かにお辞儀をしてください。」と言われました。座禅後、お坊さんより「たくさんの修学旅行生を受け入れてきたが、こんなに大勢の子が、進んで警策で打ってもらおうとしたことは、初めてです。感心しました。」とほめていただきました。続けてお坊さんから「何事も『まず、やってみよう』と思うことが大切です。やってみないとわからないことはたくさんある。これからも『まずやってみよう』と思う心を忘れないでください。」とお言葉をいただきました。



子どもたちは、それぞれが自分と向き合い、考えながら2日間を過ごすことができました。お坊さんからいただいた言葉の「まず、やってみよう」という心持ちを大切に、残り少ない小学校生活を「最初で、最後の 最高の心に焼き付く」日々にしてほしいと願っています。

子どもたちは、それぞれが自分と向き合い、考えながら2日間を過ごすことができました。お坊さんからいただいた言葉の「まず、やってみよう」という心持ちを大切に、残り少ない小学校生活を「最初で、最後の 最高の心に焼き付く」日々にしてほしいと願っています。

### 学習発表会



多数ご参観いただき、  
ありがとうございました

### あいさつ運動



P T A の皆様にも挨拶を呼びかけてい  
ただき、ありがとうございました